

令和 2 年度 人形峠環境技術センター防災訓練（9/29）における課題対応について

1. はじめに

令和 2 年 9 月 2 9 日に実施した人形峠環境技術センター防災訓練について、訓練結果（パンチリスト、訓練モニタのコメント等）を踏まえて課題を抽出し、対策の検討を行った。

【抽出した課題等】

No	抽出した課題	区分	対策	抽出元
1	現地対策本部から重要情報と通常情報が混在して提供した。	機構 TV 会議 での 発話	<ul style="list-style-type: none"> ・機構で定めた発話ルールに基づき、重要情報と通常情報の内容について、具体的に整理する。 ・要素訓練を実施する。 	・パンチリスト No. 14
2	ERC に対して事象発生後の対応やその後の事象が断片的な報告提供となっていた。	情報 共有	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集及び情報整理担当者が情報を一連の作業の流れが分かるように整理し、統括者の確認のうえ発話者に伝えて ERC へ説明するよう、ポイントを整理し関係者に教育する。 ・作業の一連の流れが分かるように報告するとともに、視覚情報を活用して提供できるようにする。 	・パンチリスト No. 8、9、13、19、 20、21、22
3	SE01 の発生事象状況確認シートの記載について改善の余地がある。	災害 対策 資料	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線測定設備の御計測の条件として「落雷の影響」だけでなく、放射線測定設備の故障等が判断できる場合（10 分以内）も含まれるように発生事象状況確認シートの記載を改善する。 	・パンチリスト No. 10
—	その他	—	—	—

2. 検討

<No. 1>

（人形峠環境技術センター）

【問題点】

現地対策本部から機構対策本部に対し、重要情報と通常情報が混在して提供され、受信者側への伝達が不十分になった。

【課題】

情報の優先度を考慮し、前後の事象を踏まえた情報提供となっていない。

【原因】

- ・重要情報と通常情報の具体的な内容が整理されていない。
- ・プレーヤーに教育は行ったものの、要素訓練が不十分であった。

【対策】

- ・機構で定めた発話ルールに基づき、重要情報と通常情報の内容について、具体的に整理する。
- ・要素訓練を実施する。

<No. 2>

(機構本部)

【問題点】

ERCとの情報共有において、以下のような場面があった。

- ・一つの報告に対し、更問を受けることが多々あり、時間のロスにつながっていた。
- ・説明が施設状況のみで、講じる対策や戦略の説明を求められてから対応していた。

【課題】

ERCに対して断片的な情報提供を実施した。

【原因】

- ・機構本部

ERC対応ブースにおいて、短時間のうちに多様な情報が集中し、整理ができない状況があった。

- ・人形峠環境技術センター

主にセンター内で情報共有する観点で情報発信されていた。センター外への情報提供については、同様の情報発信では伝達が不足することもありうるという観点が不足していた。

【対策】

- ・機構本部

相手に伝わる形で情報伝達を実施する観点から、若干、情報提供の即応性を低下させても、情報収集及び情報整理担当者が情報を一連の作業の流れが分かるように整理し、統括者の確認のうえ発話者に伝えてERCへ説明するよう、ポイントを整理し関係者に教育する。

なお、「緊急」の情報については、その限りでなく直ちに発話する。

- ・人形峠環境技術センター

作業の一連の流れが分かるように報告するとともに、視覚情報を活用して提供できるようにする。

<No. 3>

【問題点】

SE01の判断根拠について、指示値上昇の原因としてノイズの疑いがあると説明したことから、判断の考え方について疑義をもたれた。ノイズの疑いがあっても、それを特定するために相当の時間を要することから、「落雷による影響でない」と判断した時点で、SE01を判断したことを速やかに回答できなかった。

【課題】

SE01の発生事象状況確認シートの記載について改善の余地がある。

【原因】

SE01 の判断条件については、原災法解説では「故障によるものか分からない場合でも、10分以上経過すれば通報する」とあるものの、現行の発生事象状況確認シートには、その旨を記載していなかったため、即答できなかった。

【対策】

放射線測定設備の誤計測の条件として「落雷の影響」だけでなく、放射線測定設備の故障等が判断できる場合（10分以内）も含まれるように発生事象状況確認シートの記載を改善する。

3. 「その他」に関する対策

(人形峠環境技術センター)

No.	課題区分	課題	原因	対策	抽出元
1	災害対策資料	発生事象状況確認シート (SE01) において、誤警報の場合の判断条件が考慮されていない。	原災法解説に示されている誤警報の場合の判断が不足した。	発生事象状況確認シート (SE01) を見直し、誤警報の場合の判断条件が考慮されていない。	・パンチリスト No. 1
2	現場情報の表示	現場の状況が素早く把握できるようになっていない。	ホワイトボード等で表示されることが良い。	ホワイトボードに貼られている構内敷地図などを活用できるよう改善する。	・パンチリスト No. 26, 30

(機構本部)

No.	課題区分	課題	原因	対策	抽出元
1	情報共有	連絡メモの時刻欄が空白の場合があった。	情報収集担当者 (TV 会議) が情報を取得した際に時刻確認を実施すべきであった。	情報収集担当 (区分) がフォロー (作成時刻を記載) する。	・パンチリスト No. 7
2	情報共有	ERC 側へ説明の意図が十分に伝わらない場面があった。	発生事象情報の提供が発信者の立場で発話されていた。	説明が長くなる場合には、適宜「ここまでよろしいでしょうか？」など受信者側に理解状況を確認するようにする。	・パンチリスト No. 14
3	情報共有	ERC から資料を表示しておくよう指摘が何度かあった。また、何も映っていない書画装置の画面を表示し続けた	情報量が多い時間帯は次の資料を説明するため、提示時間が短くなった。(説明した資料も FAX 送信が必要	「次の説明よろしいでしょうか？」など受信者側に確認するようにする。また、書画装置による説明が不要な時間帯は、書画装置の共有を停止するようにする。	・パンチリスト No. 15

		場面があった。	ため資料を替える 必要性あり)		
4	リエゾ ン	即応センターか らリエゾンへの提 供資料について、添 付資料が何なのか 添付資料を見ない とほぼ分からない。	メール本文とタ イトルがどれもほ ぼ同じため。	タイトルに添付資料の主 な項目を記載する。	・機構内コメ ント
5	画面表 示	コマンドルーム の画面について、発 生事象情報確認シ ートや事象対策進 展シートなどの最 新版を常に表示し ておくべき。	-	最新の各種シートを画面 に表示しておくようにし現 状把握の改善に役立てる。	・機構内コメ ント

以上